



国際会長主題
 アジア太平洋地域会長主題
 東日本区理事主題
 東新部部長主題
 クラブ会長主題

「世界とともにワイズメン」
 「100年を超えて変革しよう」
 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
 「何が問題か どうしたら良いか 道は一つではない」
 「老人だから、やめる を やめる 生涯現役」

キム・サンチュ (韓国)
 大野 勉 (神戸ポート)
 大久保知宏 (宇都宮)
 松香光男 (東京コスモス)
 峰 毅 (東京世田谷)

会長 峰 毅
 副会長 小川 圭一
 書記 三浦 功雄

2021年10月会報

強調テーマ
 * T W 22 *
 Towards2022 & Beyond

会計 小原 武夫
 直前会長 朝倉 正昭
 担当主事 江尻 明子

↑今月の聖句

万事が共に働いて益となるということを、

私たちは知っています。

We know that in all things God works
 for good with those who love him, those he has called
 according to his purpose.

ローマの信徒への手紙/ 08章 28節後半
 (三浦 功雄 選)

- 司会 小川 圭一 君
 1. 開会点鐘 峰 毅 会長
 2. ワイズソングと信条 一 同
 3. ゲストとビジター紹介 峰 毅 会長
 4. 今月の聖句朗読 寺門 文雄 君
 5. 高齢化社会における社協の働きと
 生涯現役ワイズへの期待 阿藤 京子 氏
 (YMCA すずらん会スタート期の社協ご担当)
 6. ハッピーバースデー
 10月1日 川嶋良子さん 10月17日 峰 毅 君
 10月28日 岩崎 弘君 10月27日 岩崎晴美さん
 10月30日 朝倉正昭君 10月22日 朝倉正子さん
 結婚記念日 10月28日 秋田正人君
 7. ニコニコ献金
 8. 諸報告
 9. 閉会点鐘 峰 毅 会長

※ 10月例会プログラム

とき 令和3年10月15日(金) 18:30~19:30

ところ 東京YMCA南コミュニティセンター3F

電話 03-3420-5361

ハイブリッド開催

9月のデータ	会員在籍	14名	例会出席者	9/17日(金)	9月のBF	ニコニコファンド	
	出席率	93%	会員	13名	切手	9月 8,410円	
	第2例会	(中止)	メネット	0名	現金	年度計 22,635円	
			メイキャップ	0名	累計切手	0g	
			ゲスト	1名			
			ビジター(含むzoom)	2名			
			合計	16名			
			すずらん会	(中止)			
			ゲスト	名			
			スタッフ	名			
			合計	名			
			新型コロナウイルスの影響で				
			東京世田谷ワイズメンズクラブは				
			2020年10月31日 社団法人日本				
			キリスト教海外医療協力会(JOCS)				
			に年会費10,000円を納入し継続しま				
			した。				
			注: JOCS 献金記録の掲載				
			すずらん会やコミュニティコンサート				
			ではかねてよりJOCSへの応援を行って				
			いる。				
			使用済み切手とワンコインの				
			献金など。				

※ 本日のメインプログラム

阿藤 京子 氏

東京生まれの東京育ち。英語とアメリカに憧れ、高校三年生の時に一年間アメリカに留学。友人家族と教会に行くなどキリスト教に接する機会も多く大学は青山学院へ。卒業後、出版社に就職するも福祉への思いは強く、社会福祉士資格を取り5年で社会福祉協議会へ転職。現在はファミリーサポートセンター係長。

※ 9月例会報告



峰会長の生涯現役プログラムに沿って、9月は三浦功雄さんに卓話を頂きました。

1 22才から65才まで

この43年間の時間配分を「仕事」「家庭」「社会」の3つに分けると、仕事が70%・家庭が30%・社会は0%でした。これは、同年代の人達も同じで、仕事中心の時間を過ごしたと思います。

仕事の内容は、自営業で、父が始めた金属加工業、つまり町工場を兄と引継ぎ、30才の頃、特許をとり、その自社製品が転機となって会社は下請け会社からメーカーへと変わっていくことが出来ました。

30代・40代・50代は朝早くから夜遅くまで、休むこともなくよく働き、60才ころから、学ぶ時間をとり、妻と二人で上智大学のアルフォンス・デーケン先生の「生と死を考える会」の講演を聴いたり、同じく上智大学の永島先生のフランクル著「夜と霧」の講座を受講したり、高木シスターの「グリーンケア公開講座」などを受講し

ていました。この講座に共通しているテーマは「死を考えることは、生を考えることだ。」と言えます。

65才で定年退職し、67才までは相談役・顧問として仕事に関わりましたが、その後は完全にリタイアしました。

2 2018年妻との死別

私は、1971年大学1年の時、江東YMCAで知り合ったクリスチャン男性との付き合いがきっかけで阿佐ヶ谷教会に通うようになり、一方、妻となる人が阿佐ヶ谷教会に来るきっかけとなったのは、病床洗礼でした。1974年18才の時に、信仰心はありながら洗礼を受けていなかった彼女が、生死を分けるような大きな手術を受けることになり、本人の希望でクリスチャンである母親が所属する阿佐ヶ谷教会の大村牧師より病床洗礼を受け、その数日後、意識を失い緊急手術になりましたが、手術は無事成功しました。

1980年彼女が24才の時、再び試練が訪れ、幸い手術は無事成功しました。この入院がきっかけで、お宅を訪問するようになり、1982年に結婚、私29才・妻25才です。1988年にまた試練がやってきました。担当する外科医は手術を勧めましたが、経過観察で了解してもらいました。

妻は語学が堪能で、大学卒業後、外資系銀行に勤務し、結婚を機に退職しましたが、医学翻訳（和→英）や、英語の非常勤講師をしていました。

又、手話通訳の資格をとり、手話通訳ボランティアをしていた時期も。病院ボランティアは、長期入院児さんが中心でしたが、受付案内のボランティア、医学翻訳と病院ボランティアは亡くなる3年前まで続けていました。

2015年に余命数年との宣告がありました。その内科医から、2018年11月21日の外来で、検査結果が悪いので入院を勧められましたが、本人の「自宅で過ごしたい」との希望で、自宅で過ごすことにしました。約4週間後の、12月15日享年62才で帰天しました。

病気と共に残された時間を精一杯生きた人だと思います。特に、病気の子供達への思いは強く、健康が与えられていればもっとやりたいことが多かった人でした。

3 フランシスコ・ヴィラ入所、 スローライフと黙想について

フランシスコ・ヴィラでの生活で感じることは、・お御堂（礼拝堂）があること。・シスター達の信仰に守られていること。・修道会の、閑静な雰囲気などが、他の老人ホームと違うところではないかと思います。

私が入所を決めた理由は、妻との死別もありますが、リタイア後の生活を静かに、しかも時間を有効に使いたいと思いました。来年は上智大学の「グリーンケア養成講座」を受講する予定です。

さて、私がフランシスコ・ヴィラでもう一つ大切だと感じたのは「黙想」です。

シスター達の生活はスローライフですが、[ただユックリではありません。]本当に必要な事を丁寧に淡々と行っています。どのシスターも黙想の時間を重ねながら、日々のなす業を行っていると感じます。

私が思う「生涯現役プログラム」とは、人は誰しも、加齢や病気で出来ないことが増えますが、その現実を受け入れつつ、自分の成すべき勤めを淡々と行うことではと思います。

そうした、フランシスコ・ヴィラの生活を味わいながら過ごしています。



黙想：自分の意識の深層に深く潜り込み
心を整理したり、
思いをめぐらせたりする行為。

瞑想：心を静め、一つの思考のみに集中する
行為。もしくは、無心になる行為。

TW22 Towards22 & Beyond

2022年とその先に向けて (チャレンジ22)

定められた国際協会の目標を達成するための実施計画。

計画は具体的に7つのチャレンジ：認識を変える、ブランドイメージの強化、YMCAとの連携強化、など。

詳細は <https://www.ysmen.org/challenge22/>

ワイズ・ナイトフォーラム

第1回 9月19日(日) 20:00~22:00 Zoom開催

卓話者：藤田 智さん(東京多摩みなみクラブ) 恵泉女学園大学教授 NHK 趣味の園芸「野菜の時間」他に出演
パネルディスカッション：佐竹 誠さん他「カンボジアに園児服を送る活動」 下記は参加アドレス。

<https://us06web.zoom.us/j/86832303212?pwd=d3NVQkNYMONIKOZEaXRONEFuaVVvUT09>

ミーティング ID : 868 3230 3212

パスコード : 8 6 3 3 9 2

第2回 10月24日(日) 20:00~22:00 Zoom開催

卓話者：利根川恵子さん(川越クラブ・元理事)「TOKYO 2020 オリンピックにボランティアとして参加して」
パネルディスカッション：チミケップキャンプ場の活動

第3回 11月21日(日) 20:00~22:00 Zoom開催

卓話者：西村隆夫さん(チェンマイクラブ、元国際書記長)「国際書記長としてのタイでの生活とオリンピックボランティアの経験」
パネルディスカッション：ワイズ青少年事業活動の魅力

☀ 第25回東新部部大会 開催

2021年9月11日(土) 13:30~17:00

Zoom併用にて開催された

ホストクラブ：東京町田スマイリングクラブ

会長：為我井輝忠

東新部部长：松香光夫(東京町田コスモス)

部大会実行委員長：太田勝人(東京町田スマイリング)

司会：東新部書記：権藤徳彦(東京町田コスモス)

第1部「学びと研鑽」

ゲストスピーチ

東日本区理事：大久保知宏(宇都宮)

「絆を深めるとき」

東京YMCA総主事：菅谷 淳(東京)

「アフターコロナと東京YMCA」

元アジア太平洋地域会長：田中博之(東京多摩みなみ)

「国際協会・アジア太平洋地域の現状と新しい取り組み」

東新部直前部長：加藤義孝(東京)

部長表彰 CS表彰

東新部部长挨拶：松香光夫(東京町田コスモス)

第2部「交流と親睦」

乾杯：持田二郎(東京)

音楽のひとつとき：ヨーデル、ピアノ・管楽器伴奏による
テノール/ソプラノ オカリナ(伊藤幾夫さん)



各クラブ会長よりクラブ活動アピール

実行委員長：太田勝人(東京町田スマイリング)

お礼の挨拶



※ 会長通信 2110

SDG s 開発目標 3 の実現に向けて

職場は下半期に向けたスタッフ増員の望みも露と消え、職場環境に大きな変化はありません。保健所機能を内包するハードな部署で日々、現役で業務遂行しながらクラブ運営するには限界があり、1年間限定を条件として、小職を担う事となりましたが、ようやく第2四半期を迎える事となりました。感謝。

年間を通して生涯現役という、1つのテーマで卓話を、顔の見える身近なメンバー等同士でバトンリレーし、互いにシェアしていくプログラムは、何処のクラブにもない、実は全国のワイズの中でも初と思われる先駆的な試みです。(すずらん会の歌会も含め、パイオニア的な位置づけ)

残された期間も継続して、SDG s 開発目標 3 である『全ての人に健康と福祉を—あらゆる年齢の全ての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する』を目指し、皆が心身共に健康で過ごせるよう、メンバー同士が知恵を寄せ合う、身の丈に合った無理のない、穏やかなプログラムを展開します。今回はメンバーが新たに配偶者を、例会のリアルな場に連れてきて頂いた事は、高齢化を迎えた今、クラブに行けば知りたい事を、身近な人から聞く事のできる、魅力あるプログラムとの証左でしょう。佐藤さん、三浦さん有難う御座います。

次年度、ご自身として国外、国内問わず、実現したいプロジェクトを、クラブを通して成し遂げたい、と強い思いの方がいれば、会長職を禅譲します。

※ YMCA NEWS

東京YMCAが長年支援を続けているバングラデシュYMCAが運営するNFPE（働く子どもたちの学校）は、コロナ禍の影響により2020年3月から休校が続いている。子どもたちの学習とその家族の生活支援のために、

国際協力募金から支援をすることとし、募金活動を開始した。

現地では教師が各家庭を訪問し家庭学習をサポートするとともに、生活が困難な家庭には食料品やマスクなどの物資を届ける予定。

また、一昨年から交流が始まったミャンマーのネピドーYMCAでは「YMCA農村診療所」の活動の延長として、コロナ患者を病院に搬送する救急車プログラムの他、失業者に食料品を配給する活動をはじめたことから、国際協力募金からの支援を検討している。

今後の主な行事日程

「第35回インターナショナル・チャリティーラン」

(スマートフォンアプリを使った
ウォーキングイベントとして開催)

- ・10月16日～22日：個人参加
- 10月23日～31日：チーム参加「

「フェスティバル」を実施

・10月31日 南センターのバザーの代替えプログラムとしてオンラインプログラムでの「フェスティバル」を実施。ラッフルチケットを販売してリーダー養成募金に充てる予定。

「YMCA・YWCA合同祈禱週礼拝」

- ・11月11日 会場：東京YWCAカフマン ホール
説教：渡辺俊彦牧師（上馬キリスト教会）
(オンライン参加も可)

【御礼】

世田谷ワイズよりご寄付いただき、南センターのオンライン環境を整えるために、新しいパソコン及びWEBカメラを購入し、9月の例会ではじめての使用をさせていただきました。スムーズになった部分と改善点もいくつか挙げられたので、会場内での声の出し方等も工夫しながら、誰もが例会を楽しめるようにしていくことを例会後に皆さんと確認いたしました。

ワイズの例会だけでなく、様々なプログラムでも今後活用させていただきます。ありがとうございました。

(江尻明子 記)

